

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000			建設水道部 土木課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	07	土木費	04	都市計画費			04	公園費	
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合					目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%		
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから										
小事業	10	都市公園整備事業		目標年度	令和6年度								



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	都市公園の老朽化による更新や公園の管理基準と市民ニーズの変化等による公園施設の改修・更新が求められている。また、都市公園法の改正により公民連携等による新たな運営管理手法の可能性が広がり、市民サービス向上のための運営手法について再検討が求められている。				
	事業目的	(1) 対象(誰、何を対象にしていますか) 都市公園等の利用者 (2) 目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 清掃や施設の改修および保守点検等を行うことで、快適で安全な都市公園の維持と利用者数の増加を図る。				
	事業概要	市民が安全で快適な憩いの場所として利用できる公園を維持するため、清掃や施設の改修および保守点検等を行う。 市民協働で計画した井戸畑児童公園及び神明児童公園の再整備の実施。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	160,243 110,527	101,510 95,979	105,075 90,929	151,923	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	3,190 / 1,884				



アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	老朽化した公園リニューアル事業の実施数	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	



アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	市民満足度調査による住みよいまちと感じる人の割合(%)	目標値	75	75	75	75
		実績値	75.7	75	70.7	

実
績



評
価
分
析

実 績	施設管理保守年間委託業務を7業務実施 遊具等施設点検および点検結果による補修工事実施 前平公園募設置管理制度導入可能性検討業務 神明児童公園改修実施(R4・R5) トイレ設計(森山公園、神明児童公園、小山公園)
効 果	施設修繕を行うことで、より安全に安心して使用することができること等、利用環境の向上を図ることができた。 また、公園に対する市民ニーズを満足する手段の一つである、公民連携による管理運営手法について具体的な検討を始めることができた。

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	神明児童公園を古井第2保育園敷地と合わせてリニューアルを進めている。リニューアルに当たっては地域のニーズに合わせた計画を行った。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	住みよいまち(市民満足度調査)と回答している割合が令和3年度から令和4年度で減少している。市民の憩いの場である都市公園のリニューアル等整備を進め、住みよいまちを目指していく。
実績からR05年度の 事業の方向性	引き続き神明児童公園のリニューアルを進めていく。定期的な点検等により安心安全な公園管理を行う。 また、前平公園での官民連携による効率的・効果的な管理運営手法の検討を進めていく。

令和 4 年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合					目標値	120,000人 80.0%
中事業	01	主要な取り組み	みんなのまちを、みんなでつくる								
小事業	03	クリーンパートナー事業		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	市民の生活空間への愛着や地域コミュニティの醸成、公共施設の維持管理費の削減などを目的としていますが、高齢化等の理由により継続できない事例も発生している。				
	事業目的	(1) 対象(誰、何を対象にしていますか) 公共施設にて清掃活動等を実施するボランティア団体 (2) 目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 公共施設への愛着をもって管理していただくことで公園利用者の増加を図るとともに維持管理費の縮減を図る。				
	事業概要	都市公園などの公共施設において地域住民や市民団体、企業などが実施する維持管理活動を支援する。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	1,550	1,550	2,180	2,100	
決算額		762	1,077	1,313		
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		546 / 90				

実
績



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	H P等による精力的な情報発信や、花苗の提供等効果的な活動支援等により目標が達成されたと考えられる。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	クリーンパートナー登録への勧誘、積極的な取材活動により目標物が達成出来た。
	実績からR05年度の 事業の方向性	既存の登録団体が楽しく活動でき、新規登録団体の増加を図ることが出来るよう活動備品や花苗の充実や、工夫を凝らした情報発信を行う。



アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	H Pを活用したクリーンパートナー活動の年間紹介数	目標値	10	10	10	10
		実績値	6	16	12	



アウト カム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	クリーンパートナー登録団体数	目標値	51	52	54	55	56
		実績値	51	53	57		

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合				目標値	120,000人 80.0%	
中事業	01	主要な取り組み	みんなのまちを、みんなでつくる								
小事業	04	かわまちづくり整備事業		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	かわまちづくり基本計画の目標である、拠点（美濃太田駅、中山道会館、リバーポ ートパーク美濃加茂）の賑わいの創出及び拠点間の連携によるエリア全体の活性化 （地域資源を活かした賑わいと学び）が達成できていない。				
	事業目的	（１）対象（誰、何を対象にしていますか） 木曽川河川利用者、周辺住民 （２）目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 市民や施設利用者の意見を反映した事業を実施することで、かわまちづくりエリア の賑わいと憩いの場の創出につなげる。				
	事業概要	リバーポートパーク美濃加茂が賑わうよう運営管理する指定管理者とともに事業を 計画、実施する。また、公園施設の整備工事の実施。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	40,543	34,754	29,852	24,871	
	決算額	38,173	29,951	29,051		
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	953 / 0				



アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	リバーポートパーク来訪者数	目標値	130000	130000	130000	130000	130000
		実績値	110386	125898	164783		



アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	リバーポートパーク、中山道太田 宿エリアへの来訪者数	目標値	320000	320000	320000	320000	320000
		実績値	280062	187373	251895		

実
績



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	過去最大の公園利用者数となった。コロナ禍で公園利用者数が減少してい たが、コロナの影響が減少したことによる反動や継続した情報発信による 認知度の向上によるものであると考えられる。 事業効果を正しく測ることが出来る活動指標・KPIにR5年度以降変更した 。活動指標＝イベント等まちづくりに関する取り組み実績回数 KPI＝リバーポートパーク来訪者数
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	リバーポートパークの利用者は増加しているが、コロナの影響によるイベ ントの中止等中山道太田宿エリアへの来訪者数が減少し未達成となった。 事業効果を正しく測ることが出来る活動指標・KPIにR5年度以降変更した 。活動指標＝イベント等まちづくりに関する取り組み実績回数 KPI＝リバーポートパーク来訪者数
	実績からR05年度 の事業の方向性	更なる賑わい創出のため、指定管理者と協力し、隣接の森を使ったキャン プや自然体験学習等、公園の新たな魅力創出のための取り組みを強化する 。また、他の拠点強化（にぎわいの創出）のための計画を立案する。

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合				目標値	120,000人 80.0%	
中事業	01	主要な取り組み	みんなのまちを、みんなでつくる								
小事業	05	K i s o ジオパークにぎわい創出事業（定住）		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	氾濫や増水から人々の暮らしを守るための河川改修や堤防の築堤により、人々の安心・安全な生活は確保され、豊かな生活が出来るようになった一方で、生活水準の向上に伴い人々と川との関わりは少なくなった。また、暮らしの中で木曽川の恩恵を直接享受している世代（60代以上）が存在している今こそが、地域特有の文化（川の文化）を継承できるラストチャンスである。				
	事業目的	（１）対象（誰、何を対象にしていますか） 圏域住民 （２）目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるか） 川の持つ楽しさや魅力を伝える一方で、川が持つ危険性や万が一危険な状況が起こった場合の対処法などを地域の方（子供たち）にわかりやすく伝え、事故を防ぐための啓発を行うとともに、木曽川への親水性を高め、賑わいのある河畔空間を創出し、「人と川の素敵な関係がうまれるまち」を圏域の特徴として、川のある暮らしを未来に継承していける人と人の繋がりをつくる。				
	事業概要	河畔空間の魅力向上のための整備や、川のリスクマネジメント・川のある暮らしを体験できるプログラムを企画・実施していく。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	7,724	17,800	10,395	18,917	
	決算額	7,724	13,352	7,645		
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	516 / 0				

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	イベント等まちづくりに関する取り組み実施回数（回）	目標値	34	35	36	37
		実績値	24	101		

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	事業箇所（堤防道路・RPPM）の利用人数（人）	目標値	248000	249500	251000	252500
		実績値	236037	249350		



実 績	実績	○イベント回数101回、参加人数73,477人。Kisoジオパークにぎわい創出事業としてのイベントは夏休み川の安全講習会5回（60人）、太田小学校川のリスクマネジメント（100人）である。市主催イベント1回、他に指定管理者によるイベント回数46回、他48回は市民団体によるもの。 ○川のアクティビティ体験推進委託（美濃加茂29名、坂祝町3名） ○堤防道路の手摺工事実施（R3:429m R4:561m /1351m）（美濃加茂）
	効果	堤防道路空間の改善による堤防利用環境の向上や、各種体験学習等のソフト事業が充実してきたことにより、木曽川河畔エリアの利用人数が増加している。 木曽川及び河畔の森等を活用した各種プログラムにより、川との良好な関係性が生まれ、魅力ある「川のある暮らし」が醸成しつつある。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	指定管理者主催のイベントや市民団体主催のイベントを多く開催することができた。大規模イベントだけでなく、ホール等での小規模なイベントも実施。また、定期的に行っているイベントもあり、中之島公園がイベントができる場所として認知度が上がったと考える。 昨年度に引き続き太田小学校児童を対象に川のリスクマネジメント行った。夏休み川の安全講習会（5回）を行った。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	各種イベントを開催したことで利用者が増加し、目標を達成することができた。指定管理者と共に引き続き中之島公園や木曽川河畔を使ったイベントを実行し目標達成に努める。
	実績からR05年度の事業の方向性	令和4年度に引き続き川のリスクマネジメントを行う。また、坂祝町と連携して行っている美濃加茂市・坂祝町小中学生を対象とした川のアクティビティ体験を引き続き行う。夏休み川の安全講習会を継続して実施する。堤防手摺塗装工事を引き続き実施する。 令和5年度で堤防手摺塗装工事が全線完了予定。堤防道路利用者に快適な河畔空間利用提供していくため、老朽化した舗装等の修繕を進めていく。一方、坂祝町においては、木曽川の森散策路専用駐車場を設け新たな利用者の増加を図る。

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合				目標値	120,000人 80.0%	
中事業	03	主要な取り組み	地球とまちの環境を守る								
小事業	04	ヤギさん除草事業		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	ヤギ除草によるいっそうの癒し効果、市のPR効果を踏まえて事業を展開している。 ヤギ除草を施工する箇所は法面が急であり足場がないため、人力で行うと転落による事故の危険性がある。ヤギは急峻な場所でも容易に移動することができることから、法面での飼育に問題がなく有効に緑地管理を行うことができる。				
	事業目的	（１）対象（誰、何を対象にしていますか） 近隣住民、公園利用者 （２）目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） ヤギさんによる除草をすることで、環境に優しく低コストな手法による公共用地法面の保全。				
	事業概要	環境に優しく低コストな法面除草の手法であるヤギさん除草をさくら広場などの公共緑地において実施する。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	7,400	7,400	10,092	9,720	
	決算額	7,205	7,348	9,999		
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	326 / 0				

アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	ヤギさん除草のイベント回数	目標値	1	1	2	1	1
		実績値	0	1	1		

アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	ヤギさん除草の年間紹介回数	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	1	3	3		



実 績	実績	ヤギさん除草を実施 ・さくら広場、給食センター北緑地 ・あじさいヶ丘3丁目法面 ・中部台パーク調整池 ・文化の森西緑地 ヤギさんふれあい教室 2回
	効果	・除草により法面や緑地の適正な管理を行えた。また、ヤギによる除草で維持管理費のコストダウンを図ることができた。 ・ヤギさん除草に対する電話やメール、来訪者の意見等により、視覚的・心的効果による心の健康に寄与している事がうかがえる。また、イベントでヤギさんと触れ合い、専門家のお話を聞くことで、参加者が本取組みに関する理解を深めることができた。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	ヤギ除草による法面の適正な管理のほか、ヤギさんイベントを中部台パークで行った。当日は多くの参加者があり、癒し効果や市のPRにもなった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	ヤギ除草開始時等にはメディアによる取材（メーテレ、NHK、CCnet）等により、ヤギ除草と通じて市のPRにも貢献している。
	実績からR05年度の事業の方向性	引き続き、ヤギさん除草を進める。更なる癒し効果や市のPRに繋げてるよう、情報発信の強化やイベントの更なる充実、ヤギさん除草実施箇所の拡充等を図る。